

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

6年 7月 25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	唐津土建工業株式会社
所在地	〒847-0002 佐賀県唐津市ニタ子2丁目7番51号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 岩本 真二
担当者連絡先	電話：0955-73-3118 (担当：営業部 峯)
	メール：do-25-doken@karatsu.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.karatsu.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>大正3年(1914年)に大工業として創業し、昭和19年(1944年)に唐津土建工業株式会社を設立し、公共工事、民間工事を請け負っている。昭和24年(1949年)より本格的に港湾工事に着手し佐賀県の唐津港・伊万里港・呼子港の港湾、漁港施設を中心に海洋土木工事に携わっている。</p> <p>また、自社で※クレーン付き台船を1隻保有している。</p> <p>(※令和6年10月に旋回式起重機船からクレーン付き台船へ乗り換え)</p>


















3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	アスファルト合材と生コンのロス率を目標設定し取り組む。	目標：アスファルト合材と生コンロス率を低減させCO2発生を抑制する。
□環境 ✓社会 □経済	業務効率化とDX化の推進で、就労時間内の業務終了に取り組む。	目標：日々ノー残業の達成
□環境 □社会 ✓経済	インターンシップや企業説明の実施で新規雇用促進に取り組む。	目標：年3回のインターンシップ

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則に「ハラスメントの防止に関する規定」を設けている				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	勤怠管理ソフトにより従業員の時間管理を行い、長時間労働の防止を図っている								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)に沿って安全環境を整備している			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	佐賀県「がばい健康企業宣言」において優良企業の認定を受けている。また「こころの健康づくり実行宣言」により産業医と連携しメンタルヘルス対策に取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	社内育児休業取得制度を設け男性女性とも育児に対する環境を整備している。 厚生労働省「くるみん」「えるぼし」の認定を受け子育てと仕事の両立、男性女性ともに働きやすい職場環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	毎年1回社内研修会で技術力や資質の向上を図っている。 資格取得奨励規定を設けて資格保有手当及び取得費用の貸与について定めている。 職務役割に応じた外部講習会への参加を行っている。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	経済産業省「健康経営優良法人」の認定を受け、従業員の健康保持・増進を実践している。			3					8									
11 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	オフィスペーパーレス化への取り組みを行っている。										11.6	12.4 12.5	14.1					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社屋電灯をLED化し、省電力化を図っている。								7.3					13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	CO2排出量の削減に取り組んでいる(生コン、As合材の排出抑制)								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	安全データシート(SDS)により有害化学物質のリスクアセスメント管理を行っている。			3.9					6.3			11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している									6.6							15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる									6.4 6.6									
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得し運用している。			3.9					6	7			12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社HPで、SDGsの取り組みを公表している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2					13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取得し運用している。											9						
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる									6				12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	近隣小学校の通学路において、通学時交通誘導を年4回実施している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	さが緑の基金への寄付により、緑化事業を支援している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	年初の全社オリエンテーションで、経営理念及び経営目標を共有している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																	16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	災害対策組織表、マネジメントシステム組織図等により体制を整備している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	リスクアセスメント調査票により、リスク度の評価を行い、予測と対策が実施できている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事業継続計画書を立案している。									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。